

## 2007 FCJ シリーズ第 11-12 戦

### ■ 8月23日 フリー走行1日目 DRY→WET

今回で富士スピードウェイも3回目となり、前回の富士では少しポイントをつかみ掛けてた感じもあったので、今回で自分の苦手だったセクター3を攻略しようと、しっかりイメージトレーニングして入りました。そして今回のレース前には「スーパー耐久」というハコのレースにも出場させてもらっていたので、いつもとは違うハコで得たイメージもあり楽しく楽しみました。

そんな中、走り始めて徐々にタイムを縮めていき、内圧の調整などをして6番手のタイムを記録します。しかし後半に入りタイムをあげることが出来ず、このセッションは17番手で終わることとなりました。自分の遅いところはやはりセクター3でラインなども含め、中タイメージ通りに走ることが出来ません。この日2本目のセッションではそこを意識して走り、少しずつタイムをあげていくことができ、9番手のタイムをマークします。しかし、そこから雨がドンドン強くなり、WET タイヤでの走行に切り替わりました。WET ではトップに比べると全体的に少しずつ遅れてしまう感じで、全部のコーナーにおいて突っ込みすぎる傾向にあり、自分の課題が浮き彫りになった走行でした。結局、総合14番手でこの日の走行を終えることとなりました。

### ■ 8月24日 フリー走行2日目 DRY

この日は走り始めから全車一斉に NEW タイヤでの走行となり、予選を意識して走り始めました。予選と一緒に15分間の間では計測1周目からドンドンアタックした結果、5番手のタイムをマークすることができ、一旦ピットインして内圧を調整します。しかし、今回から今までとは違い、リヤウイングの角度が変更され、1番リヤのダウンホースが効く100R というコーナーのバランスが前回までの富士とは変わってしまいました。そこをタイヤの内圧を変更することによって、前回と同じようなバランスにしようと色々試すのですが中々決まりません。しかも他のクラスの走行後では路面状況が変わってしまい、走行ラインなども変わってしまいます。午後に入り走行距離を重ねると、タイヤのグリップも落ちてくるのですが、そういう状況の時に、内圧ではなく走行ラインなどでベストなバランスに持っていくことができず、この日は総合22番手という順位までポジションを落として予選を迎えることとなってしまいました。

### ■ 8月25日 公式予選 DRY

#### 第11戦 21番手

前日のテストではトップから0.5秒落ちと言うタイムで20番手だったので、この予選でもかなりの接近したタイムが予想されます。ブレーキングでしっかり詰めなければならぬコーナーと立ち上がり側をしっかりと頑張らないといけないコーナーを意識してアタックを開始したのですが、気持ちばかりが入ってしまうのか、中々タイムが上がっていきません。そこから一旦落ち着こうとクールラップを挟み再度アタックを開始したのですが、タイムアップも少ししか出来ず、結局21番手というポジションで第11戦の予選を終えてしまいました。前日に比べてもトップとの差も大きく、みんながテストよりタイムをあげているにも関わらず、自分は前日の自己ベストよりも0.3秒ほど遅く、明らかに自分のまとめる力がなかったなと実感しました。

#### 第12戦 20番手

11戦の予選後に内圧を調整しなおし、自分の悪かったところをしっかりと考え直します。走り始めてすぐに1回目の予選のタイムはうわまることが出来ました。けれどそこから中々タイムをあげる事が出来ません。その後はまた1周のクールラップを挟み、速いドライバーの後ろについて自分の苦手なところを引っ張ってもらおうと走ります。そしてファイナルラップではセクター1をベストで来て続くAコーナーもバッチリ決まり、そのままタイムに大きく影響する100Rに入ります。しかしその走行ライン上にスロー走行しているマシンがあり、自分は自己ベストでまとめてきているのを感じていたのですが、そのギリギリをロスを少なく走ろうとしたのですが、相手のマシンも完璧にラインをふさいでいたので、僕はそのままコースアウトしてしまい、アックをやめてピットインすることとなりました。その最後の周に関しては凄く悔しかったのですが、それまでも十分タイムを出すチャンスはあったので、そこは自分のミスとして、もっとワンチャンスにタイムをまとめていける様な走りをしようと思います。

#### 第11戦 決勝 16位 DRY

この日はお昼過ぎからのレースとなり、路面温度、気温共にかなり上昇していました。それに合わせて、タイヤの内圧などを調整して第11戦の決勝を迎えます。フォーメーションラップではマシンを左右に振り、しっかりタイヤを温めて、グリッドに着きます。

そしてシグナルに集中して、

シグナルレッド・消灯・スタート！

今回はクラッチミートが早すぎてしまい、途中少し失速してしまい1コーナーまでにはほとんど順位を上げられないまま続くAコーナー、100Rと続きます。そして100Rからヘアピンの進入で2台ほどパス、続く、Bコーナーの進入で他車同士の接触もあり、その隙をついて更に2台パスして、1周目を16位で戻ってきます。そこからドンドンタイムをあげながら走り、前の集団について行きます。7周目にはペナルティーを受けた車もあり15番手へ。しかし次の周に自分のミスで後ろとの距離が一気に縮まってしまう。そして今回からリヤウイングの角度を変更したことで、スリッパがかなり効くようになりホームストレート、バックストレート、と毎周にわたりブレーキング競争になってしまいます。自分も必死でイン側のラインでブレーキングするのですが、ライン上ではないイン側は路面も悪く、どうしてもブレーキングポイントが早くなってしまいます。

それでも立ち上がり側をしっかりと合わせて、6周ほど、どうにかポジションをキープしていたのですが、二人で競り合っている分、ラップタイムも急激に落ち、後ろの車も加わって3台での争いとなってしまいました。そしてファイナルラップのストレートではスリッパから一気に2台にパスされ17番手までポジションを落としたのですが、その周に1台は抜き返し、結局16位でチェッカーとなりました。

この日はレース中のラップも全体の9番くらいと少しずつトップとの差も少なくなってきたり、レース中のブレーキング競争でも路面などのことも計算に入れて、立ち上がりが悪くならないようなラインなど、そういう面では今までより成長できたかなと思いました。けれどそういう状況になったのも、自分のミスからなので、もっとミスをなくすにはどうしたらいいか？と言うもしっかり考えて走りたいと思います。

■ 8月26日

第12戦 決勝 15位 DRY

この日は天気もよく朝一からのレースとなったので路面状況などもしっかり感じながら、グリッドにつきました。グリッドで昨日との路面温度、気温差も計算にいれ、内圧を修正します。そして昨日の走りをしっかりイメージしながら、フォーメーションラップも終え、シグナルに集中します。

シグナルレッド・消灯・スタート！

前日と違い、イン側からのスタートだったこともあり、またしてもホイールスピンが多く、スタートに失敗してしまいました。しかしポジションはそんなに落とすことなく、1コーナーへ。自分でどのくらいのポジションを走っているのかわからないくらい、混雑した中少しづつポジションを上げ1周目は20位で戻ってきます。そしてそのまま前の車のスリッパに入り3台で1コーナーのブレーキング競争へ。そこで一気に2台をパス、それと同時に前の2台が接触、スピン。どうにかその混乱を避け、16位までポジションをあげます。そしてそのまま前の集団について行きます！そして4周目のバックストレートエンドのブレーキングで前の車が仕掛けてます。そしてインを刺された車が外にはらんだ隙に前の車に続いてBコーナーに進入したのですが、はらんだ車に戻ってきて、自分と接触。この接触で左フロントのアームが曲がってしまい、コーナーリングのバランスが唸って狂ってしまいました。その影響でフラフラになりながら最終コーナーを立ち上がったこともあり、1コーナーで一気に2台にパスされて18位へポジションダウン。そこからは曲がったアームでいかに速く走るか？と言うことをラインなども含め必死で考えながら走りました。特にブレーキングでは左に持っていられるし、左コーナーでは曲がらないで大変でした。けれど遅いなりにペースも安定してきた結果、前の車に少しづつ追い付いてきて、12周目の1コーナーで17番手、その次の週のBコーナーのブレーキング、シケインと並んで入り、更に16位に順位を上げることが出来ました。そこからもいろんなラインを試しながら走り、曲がったアームでも少しづつタイムを上げて行きます。そしてファイナルラップで自分より前にいた車のミスもあり最終的に15位でチェッカーとなりました。

前日に少しつかみかけてたこともあったので、この接触は凄く悔しいです。けれど当った事により、タイムは出なくなりましたが、いつも以上に曲がらない車をどうやったら曲げられるか？など考え、その結果最終ラップにでも自己ベストが出たことは色々考えながら走った成果かなと思いました。けれど逆にそういう状況でそれくらい考えられるのなら、それをもっと早く車もいい状態の時に考えて走らなければなあと実感しました。それと特に痛感したのが予選の順位でした。

今のFCJではトップからのタイム差が凄く詰っているので、その100分の何秒とかの差でグリッド順が何個も変わります。そういう状況だけに決勝では予選順位が結果に大きく影響してくるので、そこらへんもこれからの課題として、次に繋げて行きたいと思います。

残りのレースもどんどん減っていく中、次の舞台はFCJ初開催となる「スポーツランド菅生」です。テストもしてない中、順応性が試されると思うので、他のクラスのレースビデオを見たりとイメージトレーニングして挑みたいと思います。

これからも引き続きご指導、応援をお願いします。

Team NAOKI with LE PRIX SPORT

吉田 広樹